

2023年7月25日

各 位

住 所 東京都渋谷区道玄坂一丁目2番3号
 会 社 名 GMOフィナンシャルホールディングス株式会社
 代 表 者 代表執行役社長 COO 石村 富隆
 (コード番号: 7177 東証スタンダード)
 問 合 せ 先 常 務 執 行 役 CFO 山 本 樹
 T E L 03-6221-0183
 U R L <https://www.gmofh.com/>

連結子会社における貸倒引当金繰入額の追加計上及び特別損失の計上に関するお知らせ

タイ王国で証券事業を展開する当社連結子会社の GMO-Z com Securities (Thailand) Public Company Limited (以下「タイ子会社」)において、下記のとおり貸倒引当金繰入額の追加計上及び特別損失の計上を行うこととしましたので、お知らせいたします。

記

1. 貸倒引当金繰入額の計上に係る概要及び経緯

2023年12月期第2四半期連結会計期間(2023年4月1日～6月30日)において、タイ子会社が信用取引の提供に際し顧客から担保として差し入れを受けている代用有価証券2銘柄(More Return PLC及びOne to One Contacts Co Ltd)の株価が大幅に下落しました。これを受けて、タイ子会社で当該有価証券を担保とする信用取引貸付金等に対する貸倒引当金の見積りにおいて回収可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入額981百万円を販売費及び一般管理費に計上することといたしました。詳細は、以下のとおりです。

(1) 不公正と疑われる取引に関連した代用有価証券の株価下落について

信用取引の提供に際し顧客から担保として差し入れを受けた代用有価証券(1銘柄: More Return PCL)に関して、2022年11月にタイ証券市場で不公正と疑われる取引が発生したことに伴い、当該有価証券の価値が大幅に下落し、2022年12月期に3,527百万円、当第1四半期に1,487百万円の貸倒引当金繰入額を計上しております。

当第2四半期における同銘柄の株価下落等を受けて、貸倒引当金繰入額50百万円を追加計上することといたしました。2023年6月末現在における債権総額は6,954百万円となっております。

(2) 新株予約権の行使に関連した代用有価証券の株価下落について

タイ子会社において、信用取引の提供に際し顧客から担保として差し入れを受けた代用有価証券(1銘柄: One to One Contacts Co Ltd)に関して、2023年5月に同銘柄の新株予約権が大量に行使され、その事実が公表された2023年6月に同銘柄の株価が暴落しました。これに伴い、同銘柄を担保として貸し付けた債権総額1,615

百万円（2023年6月末現在）に対して、貸倒引当金繰入額 931 百万円を計上することといたしました。

タイ子会社では、取引約款上、既存顧客に対して強制力のある対応を行うことが難しい状況にありますが、信用リスク顕在化の再発防止に向けて、2022年11月22日より信用取引における新規貸付（新規買い注文）を全面的に停止するとともに、信用取引貸付金の担保が一部の銘柄に集中している大口顧客に対して資金の返済や追加担保の差し入れを要求する等の対応を進めております。

当社及びタイ子会社は、このような事態の発生を厳粛かつ深刻に受け止めており、タイ子会社において債権回収に全力で取り組むとともに、大口顧客及び一部の担保銘柄への集中を解消するべく、対応策の検討を進めてまいります。当社においても、海外子会社のリスク管理体制に対するガバナンス体制を一層強化し、再発防止と信用リスクの低減を図ってまいります。

2. 特別損失（投資有価証券評価損）の計上に係る概要及び経緯

タイ子会社は、債権額を確定させることを目的として、当第1四半期に More Return PLC 株式を取得しました。当第2四半期において、当該有価証券の実質価額が取得価額に比べて著しく下落したため、減損処理による投資有価証券評価損 892 百万円を計上することといたしました。2023年6月末時点の当該有価証券の簿価は 411 百万円となっております。

3. 今後の見通し

上記の貸倒引当金繰入額及び特別損失につきましては、本日、別途公表している「2023年12月期第2四半期連結決算（速報）に関するお知らせ」に反映しております。正式な決算数値は2023年8月1日に発表の予定です。

なお、今後、貸倒引当金額の見積りを行う上で、追加的な情報を入手した場合には貸倒引当金繰入額の修正を行う可能性があります。その他、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以 上